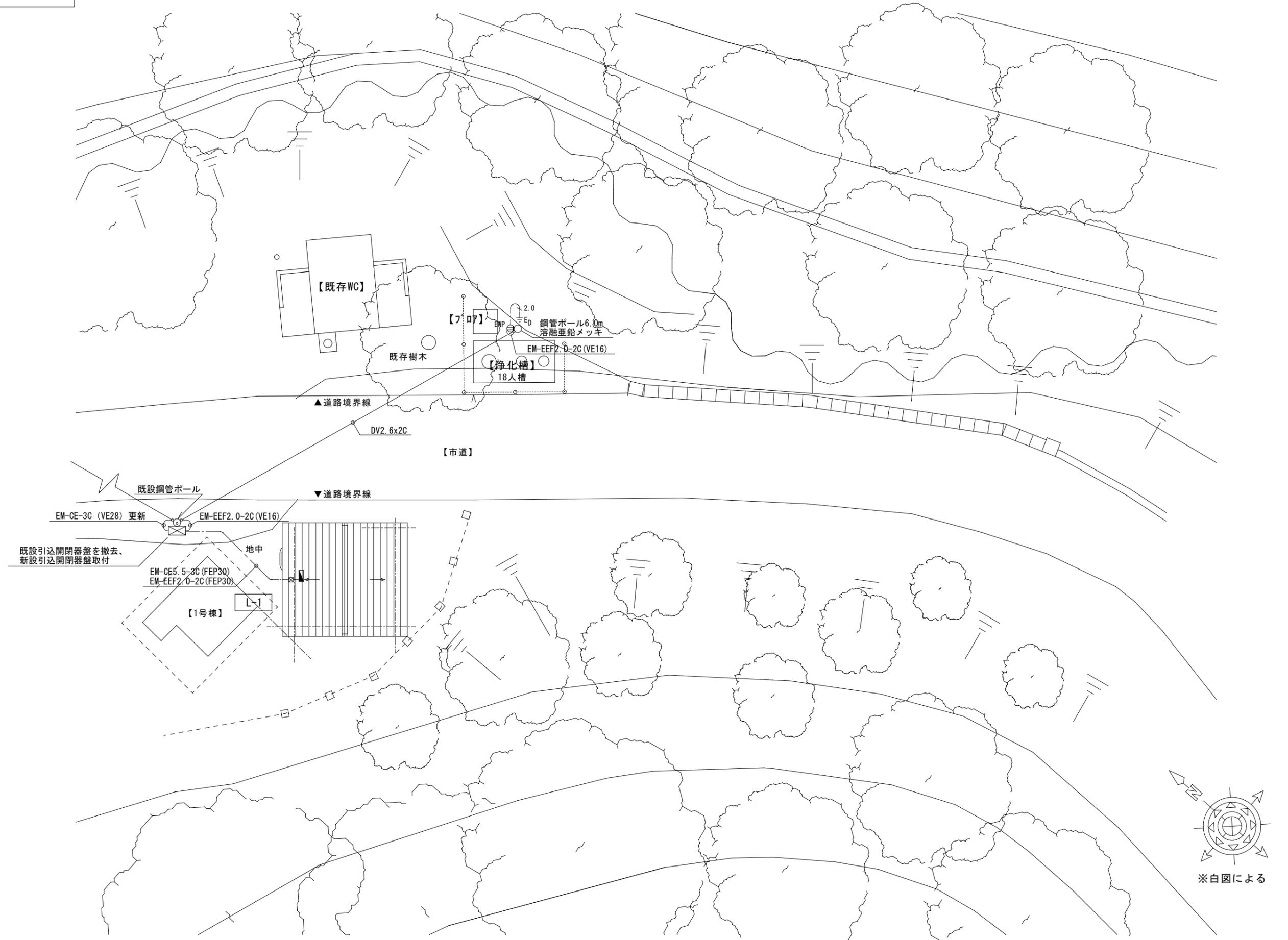




<p>● 施工仕様</p> <p>○ 既設設備等の調査</p> <p>○ 施工前の測定等</p> <p>● 耐震措置</p> <p>○ はつり</p> <p>○ インサート</p> <p>○ あと施工アンカー</p> <p>○ 基礎の配線ビット</p> <p>○ 防火区画等の貫通</p> <p>● 管路等の外壁貫通</p> <p>○ 配管・配線の耐震耐震処置</p> <p>○ 最上階の埋込配管</p> <p>● 露出配管</p> <p>○ 屋上の露出配管等</p> <p>○ 合成樹脂管</p> <p>○ 予備配管等</p> <p>○ 金属製電線管等の塗装</p> <p>○ 導入線</p>	<p>既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。</p> <p>(1) 地中埋設管路 1) 項目 ・埋設配管 ・構造物 ・その他 ( ) 2) 調査範囲 ・埋設ルート ・その他 ( )</p> <p>(2) 貫通及びはつり 1) 項目 ・鉄筋 ・配管 ・その他 ( ) 2) 調査範囲 ・施工部分 ・その他 ( )</p> <p>(3) 既設との取合い 1) 項目 ・接続箇所 ・増設箇所 ・その他 ( ) 2) 調査範囲 ・施工部分 ・その他 ( )</p> <p>改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に、監督員に報告すること。</p> <p>設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準(平成25年版)」による。</p> <p>(1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。</p> <p>設計用標準水平震度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">○ 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地下、1階</td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【備考】・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類は燃料小出槽を含む。</p> <p>重要機器は次のものを示す。 ○ 配電盤 ○ 発電装置 (防災用) ○ 直流電源装置 ○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災報知受信機 ○ 中央監視制御装置 ○</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(1) 穴開け及び補修 ・なし ・あり (貫通場所及び口径は別図による) (2) 溝はつり及び補修 ・なし ・あり (はつり塗装は別図による)</p> <p>インサートの取付けに使用した釘等は除去し、錆止め塗装を行う。</p> <p>(1) 種類 ・接着系アンカー (・カプセル方式 ・注入方式) ・金属系アンカー (・打込み方式 ・締付け方式) ・その他のアンカー ( ) (2) 性能及び施工確認 ・行う ・行わない</p> <p>基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等を考慮する。</p> <p>防火区画等の貫通部は、関係法令に適合したもので、貫通部に適合した方法で、防火処理を行う。</p> <p>外壁を貫通する管路等は、屋内に水が浸入しないように防水処置を施す。</p> <p>建物引込部の配管の耐震処置 ・行う ・行わない 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ・行わない</p> <p>最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。</p> <p>(1) 雨樋など外気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 耐風品は、ねじ込み形を使用する。 (3) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分 (2m以下) の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (4) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (5) 監督員の指示がある場合は、上記に依らずその指示に従う。</p> <p>屋上の露出配管等、防水層を傷つけないようにふ設する。</p> <p>(1) 合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。(PF管)</p> <p>(1) 埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は (PF22) を1本、5回路以上は (PF22) を2本施工する。 スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。 また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。 (2) 防犯主装置、自動火災報知受信機、MDF、警報壁等の間に移転のための空配管を行う。</p> <p>(1) 露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 1) 屋外、屋内 (電気室、機械室、EPS、居室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。 2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。 3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。) 4) 仮持貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。 (2) 塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調査ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。</p> <p>通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線 (φ1.2mm以上の樹脂被覆電線等) を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。</p>	機器種別	○ 特定の施設		● 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	地下、1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	<p>○ 予備スリーブ 梁下に配管・配線スペースがない場合には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。</p> <p>○ ボックス類 位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。 軽量間仕切のボックスは位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。</p> <p>○ プルボックス (1) 屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。 (2) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部には「コキウ」を行う。</p> <p>● ボルト・ナット類 屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないものは ● ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ</p> <p>● 環境に配慮した電線の採用 電線、ケーブル及び通信線はEM (エコマテリアル) ケーブルを使用すること。</p> <p>● ケーブル及び配線 (1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札 (ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。) を取り付ける。 ① ケーブルがスラブを貫通する部分 ② ケーブル分岐部分 ③ 変電所内のケーブル引出し部分 ④ 盤内及び接地端子箱の外部引込み部分 ⑤ 屋内の直線部分は、30mごと ⑥ プルボックス内 ⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、50mごと ⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 ⑨ マンホール及びハンドホールごと (2) ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ ( ) 箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ ( ) 箇所</p> <p>○ 開口部布設のケーブル保護 貫通穴等の開口部にケーブルを通す場合には、ケーブル損傷を防ぐためシール材を充填するなどのケーブル保護を行うこと。</p> <p>● 配線器具の設置 (1) 配線器具 (コンセント、スイッチ等) には電圧、用途などの表示を行う。 なお、表示内容については、監督員と調整を行う。 (2) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (3) 電線の種類により色を区別する。 (4) 公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。 (5) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (6) プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (7) カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (8) フロアプレートは、水平高低調整型 (空転防止リング付) とする。</p> <p>○ 照明器具の設置 (1) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (2) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A級とする。 (3) 天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (4) ハイバ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>● 照明制御装置の設定 照明器具の人のセンサー制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。</p> <p>○ 照明改修の際の測定 対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所 ( ) 測定回数 ( ) 回</p> <p>○ 換気扇 手や物が届く箇所やカーテン等が付く箇所には、格子ガードを付けること。 また、金属製パネルに設置する場合は、絶縁棒等を使用する。</p> <p>● 分電盤、制御盤、キュービクル等 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>○ 受変電設備、発電設備の設置場所 (1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。 (3) 屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容地耐力を確認し、結果を監督員に提出する。 なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。 (4) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (5) 電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>○ 発電設備の燃料配管 (1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>○ 非常放送設備のスピーカ設置 (1) 放送区域の各からスピーカまでの水平距離は10m以内とする。 (2) 階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離15m以内とする。 (3) 増幅器からスピーカまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。</p> <p>● 土工事 (1) 埋戻しの材料及び工法 ・ B種 (材料: 根切り土の中の良質土 / 工法: 機器による締固め) ・ その他 ( ) ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、GL+600mm以上とする。 (3) 根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>○ ハンドホール、マンホール 高さ900mmを超えるものには、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。</p> <p>○ 地中配線路の表示杭 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分は30m程度に1個 (30mに満たない部分はその間に1個)</p>	<p>● 【電力設備】</p> <p>● 電灯設備 (1) 電気方式 1) 種別 ① 幹線 ・単相3線式 (200/100V) ② 分岐 ●単相2線式 (200/100V) 2) 周波数 60Hz (2) 既設等との取合い ・無し ・盤改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他 ( ) (3) 機器類 ●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯 (単独設置) ●コンセント等 ・分電盤、制御盤等 ・その他 ( )</p> <p>(4) 一般照明器具 1) 形式 ●公共型 ・一般型 2) 灯具 ●LED灯 ・その他 ( ) 3) 用途 ●屋内用 ・屋外用 ・防災用 4) 環境 ●普通地域 ・塩害地域 (5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 (5) 照明制御装置 1) センサ類 ・明るさセンサ ●人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ ・その他 ( ) 2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他 ( ) 3) 制御方式 ・有線 ・無線通信 (6) 外灯 (単独設置) 1) 照明用ポール ① 材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他 ( ) ② 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ( ) 3) 灯具 ・LED灯 ・その他 ( ) 4) 電源 ・商用電源 (60Hz) (・200V ・100V) ・その他 ( ) 5) 制御 ・EESスイッチ ・タイマ ・その他 ( ) 6) 接地 ・単独接地 (・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ・共用 ・その他 ( ) (7) コンセント等 ●一般型 ●防水型 ・ハイテンションアウトレット (・固定型 ・上下動型 (アップ式を含む))</p> <p>(8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事情) に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載すること。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上 (キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。) とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>○ 動力設備 (1) 電気方式 1) 種別 ① 幹線 ・単相3線式 (・200V ・ ( ) V) ② 分岐 ・単相3線式 (・200V ・ ( ) V) 2) 周波数 60Hz (2) 既設等との取合い ・無し ・盤改造 ・配線接続 ・その他 ( ) (3) 機器類 ・分電盤、制御盤等 ・その他 ( ) (4) 負荷設備 ・給水 ・排水 ・消火 ・空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他 ( )</p> <p>(5) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (6) 電動機等の接地 ・専用接地 ・金属管接地 (7.5kV以下) (7) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事情) に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載すること。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上 (キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。) とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付 (定格電流指示) とする。</p> <p>○ 雷保護設備 (1) 避雷針 1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造物利用 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造物利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ・ ( ) 回 5) 接地埋設標を設置する。 (2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランス ・設置 (・単相用 ・動力用) ・設置しない 2) SPD ・低圧用 (・クラスI ・クラスII) ・通信用 (・カテゴリC2 ・カテゴリD1) 3) SPDの性能仕様は別図による。 (3) 電源回路保護 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 (4) 通信回路保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</p> <p>● 接地設備 (1) 接地工事 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ・共用有り ( ) (2) 接地抵抗測定 1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・ ( ) 回 (3) 接地極埋設標 接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p>	<p>● 【受変電設備】</p> <p>○ 受変電設備 (1) 電気方式 1) 種別 ・三相3線式 (・6.6kV ・200V) ・単相3線式 (200/100V) ・単相2線式 (100V) 2) 周波数 60Hz (2) 既設等との取合い ・無し ・改造 (機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他 ( ) (3) 機器類 ・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他 ( )</p> <p>(4) 盤類 1) 形式 ・閉鎖型 (・キュービクル式配電盤 (JIS C 4620) ・高圧スイッチギア (JEM 1425) (・CX ・CW ・PW ・MM) ・開放形配電盤 ・その他 ( ) 2) 中通路 ・有 ・無し 3) 特記事項 ( ) (4) 交流遮断器 真空遮断器 (VCB) ① 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し (5) 断路器 1) 形式 ・3極単投 ・単極単投 (避雷器用に限る) 2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作 (避雷器用に限る) (6) 負荷開閉器 1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有 (ストライカ付) ・無し ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無し ④ 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ⑤ 保護装置 過電流遮断トリップ付地絡方向継電器とし 制御電源用変圧器内蔵とする ⑥ 避雷器 ・内蔵 ・無し 4) 地中引込用 保護装置は、過電流遮断トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする (7) 変圧器 1) 形式 ・油入 ・モールド 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイヤル温度計 ・有 (・最大値指針 有 ・最大値指針 無) ・無し 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする (8) 進相コンデンサ 1) 形式 ・低圧 ・高圧 2) その他 ・警報接点付 ・警報接点なし 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を附属又は内蔵すること (9) 直列リアクトル 1) 形式 ・放電抵抗 ・放電コイル (力率制御がある場合は必須) 2) 容量 ・6%リアクトル ・13%リアクトル 3) その他 ・警報接点付 ・警報接点なし (10) 配線用遮断器 定格遮断容量は、短絡電流値以上のものとする。 (11) 低圧電磁接触器 低圧進相コンデンサ制御用電磁接触器の定格使用電流は、コンデンサ定格電流の1.5倍以上とする。 (12) 高圧気中開閉器 1) 制御電源用変圧器及び避雷器内蔵 2) 開閉器及び地絡方向継電器外箱 ・ステンレス製 ・鋼板製 3) 定格電流 ・200A ・ ( ) A 4) 定格投入遮断電流 ・12.5kA ・ ( ) A (13) 設備不平衡 高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3%以下となるようにする。 (14) キュービクル等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事情) に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載すること。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上 (キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。) とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 (14) 基礎 ・本工事 (・21N/mm<sup>2</sup> ・18N/mm<sup>2</sup>) ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ( ) (15) 配線ビット及び蓋 1) 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ( ) 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。 (16) 設置場所 ・屋内 ・屋外 (・地上 ・屋上) (17) 消火器 ・有 (ABC10型 収納箱共) ・無し ・その他 ( )</p>
機器種別	○ 特定の施設		● 一般の施設																																																										
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																									
上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																								
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																								
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
地下、1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																								
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																								
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								



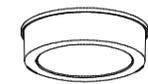
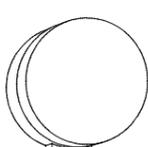


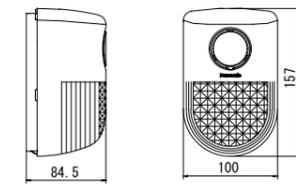
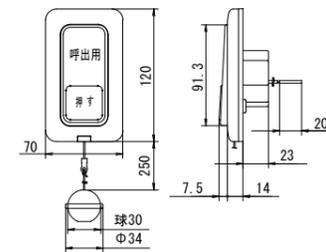
分電盤リスト									
盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器			負荷容量(VA)	負荷名称	備考
				種類	P	AF			
引込開閉器盤 屋防水外型 SUS製 銅管ポール 取付	1φ3W 210/105V WH			MCB	3	50	40		
			100/200	MCB	3	50	30	345	既存建物
			100/200	MCB	3	50	20	1300	L-1

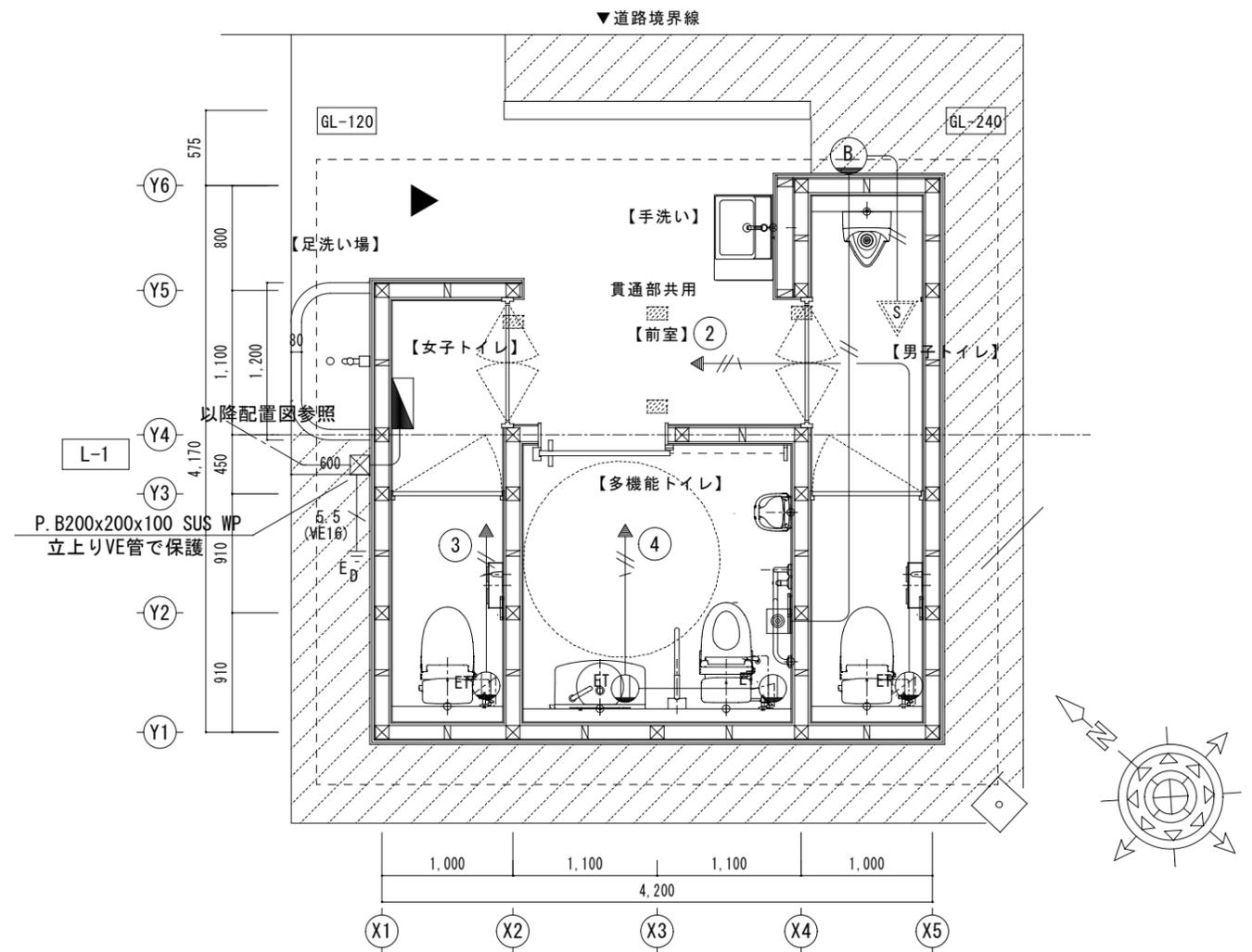
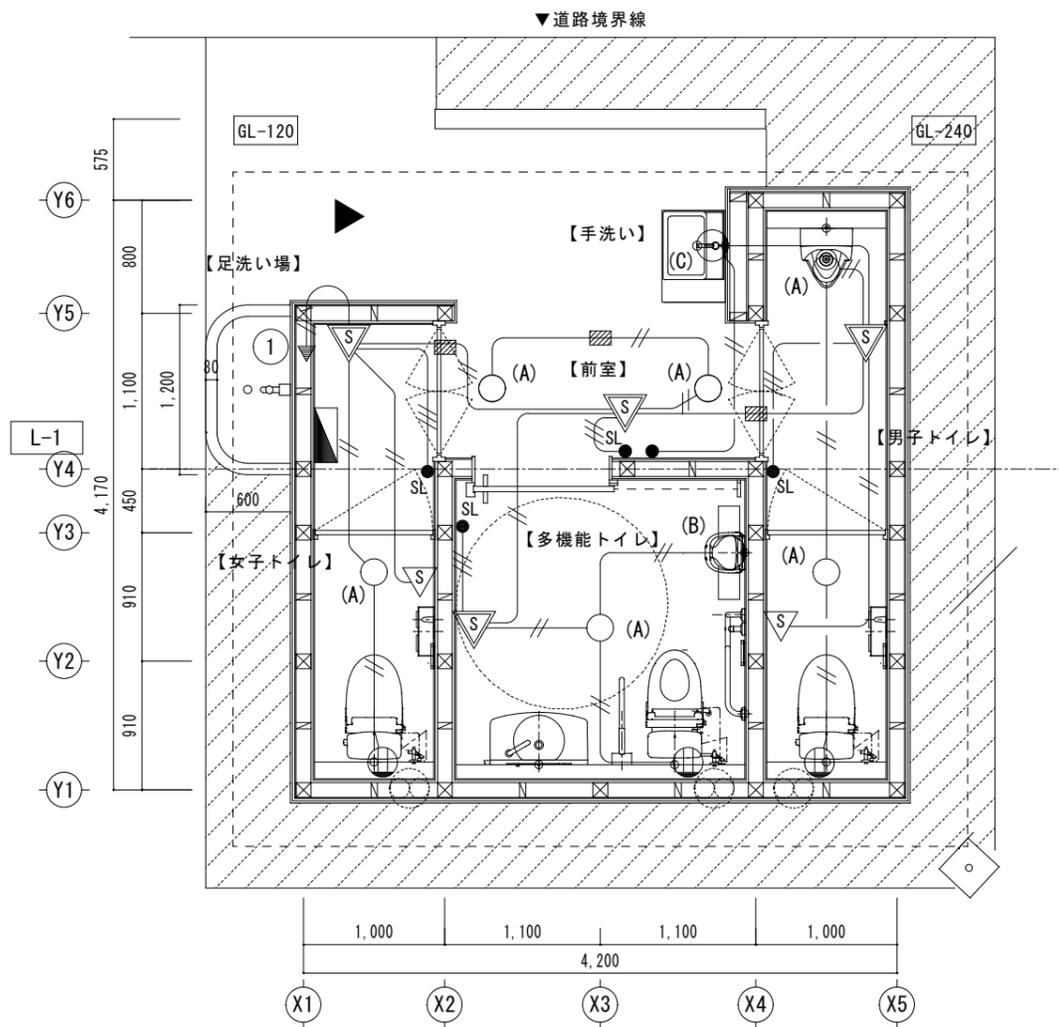
分電盤リスト									
盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	分岐開閉器			負荷容量(VA)	負荷名称	備考
				種類	P	AF			
L-1 ホーム分電盤	1φ3W 210/105V ELCB 3P30A	①	100	MCB	2	50	20	150	電灯
		②	100	MCB	2	50	20	345	男子トイレコンセント
		③	100	MCB	2	50	20	345	女子トイレコンセント
		④	100	MCB	2	50	20	1300	多機能トイレコンセント
		⑤	100	MCB	2	50	20	200	フロアーコンセント
		⑥	100	MCB	2	50	20		予備

照明器具姿図

品番は参考品番とする

A	LEDシーリングライト	C	LEDブラケット
	AU50495  LED 白熱球100W相当 本体：アルミダイカスト・ファインホワイト塗装 パネル：アクリル・透明シルク印刷 消費電力：9.6W 定格光束：635lm 色温度：2700K 非調光 防雨・防湿型 器具高-32mm 器具幅-φ125mm 重-0.3kg		OG254985LCR  LED電球フラット形 6.5W 2700K 高演色LED 人感センサー付(調光モード) 防雨型 調光器不可 巾190 高206 出121
	OB255321R  LED 9W 2700K 高演色LED 調光器不可 巾560 高45 出50		

B	警報ランプ付プザー（屋外用）（AC100V）	埋込プルスイッチ付押釦スイッチ 常開形
	 パナソニックEA5501相当品 定格 電圧 AC100V 50/60Hz 消費電力 動作時：5W 待機時：1W 操作電圧 DC5V 使用周囲温度 -10℃～+5℃ 質量 約530g 音圧 警報音：約90dB(前方1mにて) 報知音：約65dB(前方1mにて)	 WS65771相当品 定格 30V 0.1A



注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。		保護管
—//—	EM-EEF2. 0-3C (1E)	PF22
—//—	EM-EEF1. 6-3C (1E)	PF22
—//—	EM-EEF1. 6-2C	PF16
—//—	EM-EEF1. 6-3C	PF22
—///—	EM-EEF1. 6-3C x 2	PF22
▽	熱線センサー (親器) WTK3481A 相当品	
▽	熱線センサー (子器) WTK3911A 相当品	
●SL	操作ユニット WTA5820WK 相当品	
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び		
壁内立下り部はPF管にて保護とする。		
—//—	梁貫通φ60	